

MEIJI
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2016年5月16日

日本学術会議社会学委員会ジェンダー研究分科会主催 公開シンポジウム

「卵子の老化」が問題になる社会を考える

6月18日(土)開催 ※入場無料・事前申込み不要

明治学院大学社会学部の柘植あづみ教授(日本学術会議社会学委員会ジェンダー研究分科会副委員長)が企画したシンポジウム「『卵子の老化』が問題になる社会を考える」が6月18日(土)に開催されます。

最近、「高齢妊娠」や「卵子の老化」、「妊活」などの言葉をよく耳にするようになりました。社会経済的な理由で出産を決意するまでに年齢が高くならざるをえない状況がある一方で、国や自治体の少子社会対策が、「産めなくなる」不安をあおっています。本シンポジウムでは、生殖医療技術、妊娠・出産をとりまく生活環境、そして少子社会対策。これらが複雑に絡み合う状況を解きあかし、「卵子の老化」が問題になる社会の核心に迫ります。

ぜひ本シンポジウムの告知ならびに取材をご検討ください。どうぞよろしくお願いいたします。

公開シンポジウム「卵子の老化」が問題になる社会を考える

■日時: 2016年6月18日(土) 13:00~17:00 (開場 12:30) ■入場: 無料、事前申込み不要

■場所: 日本学術会議 講堂 (〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34) ■定員: 300名

■内容: (以下敬称略・*印は、学術会議連携会員)

【主催あいさつ・企画主旨説明】遠藤 薫(学習院大学・教授、学術会議会員)、柘植あづみ(明治学院大学・教授)*

【研究報告】

田中慶子(公益財団法人家計経済研究所・次席研究員) 「妊娠・出産をめぐる女性の意識 —インターネット調査から」

白井千晶(静岡大学・教授) 「卵子提供で子どもをもった高齢妊娠女性への調査から」

菅野摂子(電気通信大学・特任准教授) 「出生前検査と高齢妊娠の不安と選択」

田中重人(東北大学・准教授) 「高校副教材『妊娠しやすさグラフ』をめぐる可視化されたこと」

【問題提起・提言】阿藤 誠(元国立社会保障・人口問題研究所所長)、早乙女智子(産婦人科医、京都大学・客員研究員)

【コメンテーター】江原由美子(首都大学東京・教授)*、小浜正子(日本大学・教授)*

【総合司会】河野銀子(山形大学・教授)*

■主催: 日本学術会議第1部会社会学委員会ジェンダー研究分科会

■協力: 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B)「医療技術の選択とジェンダー: 妊娠と出生前
査の経験に関する調査」(研究代表者 柘植あづみ 25283017)研究グループ(略称 妊娠研究会)

取材のお問い合わせは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当: 田村・染川

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp http://www.meijigakuin.ac.jp